



NO.108

2021. 1. 1 発行

つじ 隆一 市議員 議会活動報告

〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-5-24 TEL 251-4064 FAX 253-2588

事務所 〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴1-1-18-101 TEL・FAX 252-9511 E-mail :fureai@lilac.plala.or.jp

社民党仙台市議団

(TEL 214-8717
FAX 711-3453)

宮城野区版

コロナ禍で社会の鎖が切れないように！

命と暮らしを守る政治をめざして

明けましておめでとうござい
ます。

コロナ禍の大変なご労苦を
お察し申し上げます。慶応大
学の竹中俊平教授は、5月の
衆議院予算委員会で、18世紀
のスコットランドの哲学者ト
マス・リードの「鎖の強度は
その鎖の一番もろい箇所が強
度に等しい」という言葉を引

き合いに、「コロナ禍で景気対
策よりも社会の一番弱い弱な
部分への支援を優先させるべ
きだ」と主張しました。Go To T
ラベルを巡って混乱していま
すが、まさに今、コロナ解雇
や住む家を追われたり、事業
や商売が成り立たなくなっ
ている方々への支援充実と、医
療体制の拡充こそが問われて
いるのではないで
しょうか。

社民党市議団
として市長に3度
の要望書を提出す
るなど市民生活へ
の支援策はもとよ
り、医療提供体制・
保健所機能の拡充
地域経済対策など
に取組んでいま
した。



第3回定例会決算特別委で質疑するつじ議員

郡和子市政は任
期最後の一年を切
りましたが、この
三年余に切れ目の



引き続き市政を支え、発展に向
け全力を投球してまいります。
18年度から地域交通への取
り組みが始まり、その実践の
第一号として、私も深く関
わっている燕沢地区の「のり
あい・つばめ」が軌道に乗り
つつあります。今年4月から
の本格運行へ鋭意奮闘しま
いります。

ない子育て支援策の拡充、い
じめ防止条例の制定、35人以
下学級の実現など、「人への投
資」政策、市民協働の市政運
営は軌道に乗ってきていると
思います。今、今後10年間の
まちづくりを示す新総合計画
の策定や環境プランの改定に
取組んでいます。市庁舎の
建て替えも本格化します。引

国では年金や医療・介護保
険制度を巡って、サービスの
縮小と負担増などが議論さ
れています。暮らしを巡って
将来不安が拡大してきていま
す。格差の拡大を許さず、命
と暮らしを優先させる政治へ
流れを変えていかなければな
りません。
本年が希望に満ちた一年と
なりますよう、心よりご祈念
申し上げます。

つじ議員の 新しい所属等

- ◇都市整備建設委員会
委員
- ◇子育て環境充実 調査
特別委員会委員
- 市議団代表

会派の名称が変わり ました！ (1/1~)

社民党仙台市議団
⇒社民フォーラム
市議団

令和3年第1回定例
市議会
2/8~3/12

令和元年 第4回定例会市議会報告

計25件の議案を審査

令和2年第4回定例会市議会は、12月3日から18日まで開かれました。

一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策費、市有林の間伐等経費、学校の仮設エアコンの移設経費など、計1億7600万円が計上されました。一方、若林区役所庁舎管理費や子ども医療費助成費、私立幼稚園運営費補助など不用額2億8300万円の減額により、計1億700万円の減額補正となりました。

コロナ感染の自宅療養者への生活支援

総額1億円のコロナ感染症対策費には、感染者の自宅療養者に食料品や生活物資を届けるための生活支援費、感染対策の車両購入費、市内事業者の資金繰りの支援経費などが盛り込まれました。

都心再構築へ動き出す

条例関係では、都心再構築の第一号としてNTT仙台中

央ビル(仮称)の再開発を進めるための条例改正、都市再生緊急整備地域での公共施設等の整備に固定資産税、都市計画税を減免するための市税条例の改正が上程されました。

また、営業証明書の発行手数料、飲食店の営業許可書の申請及び再交付手数料の改定、急速充電設備の範囲の改正、19年の台風被災者の入学手数料を減免する学校条例の改正も提案されました。

工事請負契約では四郎丸小、榴岡小の増改築等、将監市民



本会議で一般質問を行うつじ議員

センター・憩いの家・児童センターを複合施設化などで、児童館、仙台体育館等23件の指定管理者の指定に関する件も提案されました。

ひとり親家庭に特別給付金

追加補正予算案で児童扶養手当が給付されているひとり親世帯に、コロナ禍で2度目となる臨時特別給付金として1人目は5万円、2人目以降は3万円が給付されることに

なりました。

臨時議会で職員等の給与削減を決定

11月26、27日に開かれた第3回臨時市議会で、市人事委員会の勧告に沿った職員の給与の月例給1・125%(平均417円)、一時金を0・05月引き下げ、市長、特別職、議員の一時金も同様に引き下げる条例が可決されました。

Go To トラベルの中止などを質す

つじ議員が一般質問

つじ議員は12月14日の本会議で一般質問を行いました。

まず、政府が強引に進めているGo To トラベル事業について、コロナ感染症拡大の要因であり、国に中止と観光業者や働く方々への支援を求めよう質し、これに対して市長は「感染拡大防止と社会経済活動の両立のため、宿泊業者と利用者双方が感染防止対策を講じることが重要だが、今後の感染状況を注視していく」と答えるにとどまりました。医療や介護、障害者

施設で働く方々へのPCR検査を求めたことについて、「対象人数が極めて大規模となり、体制確保や費用の課題から難しい。施設の利用者や職員に感染が確認された場合には、PCR検査を実施するなど適切に対処する」と答えました。コロナ解雇の実態と支援策を求めたことには、「雇用問題は瀬戸際の状況と認識しており、雇用支援に一層力を入れていく必要がある。事業の継続・下支え、雇用維持等に資するあらゆる経済施策に取

全国社会福祉協議会から感謝状

1998年の設立からグループホームや小規模活動センターなど精神障害者の自立と社会的復帰の支援に取り組む「ソキウスせんたい」(03年よりNPO法人)の活動に関わってきました(09年から16年まで理事長、現理事)。その活動に対して11月13日に全国社会福祉協議会会長より表彰を受けました。

表彰状

辻 隆一 殿

あなたは多年にわたり社会福祉事業に尽力されその功績はまことに顕著でありますよってここに表彰いたします

令和二年十月十三日

社会福祉全国社会福祉協議会

会長 清家 篤



り組んでいく」と答えました。その他、減収農業者への支援策、マイナンバーカード交付普及事業のあり方と問題点、市ガス事業の民営化を巡って、優先交渉権者の選定、譲渡価格の問題、利用者への説明などを取り上げました。

「のりあい・つばめ」本格運行へ

21年4月から

燕沢地区で取り組む地域交通の「のりあい・つばめ」は、これまで3回の試験運行を経て、4月から1年間の実証運行に取り組みました。

1日の乗車人員は、11月末までの集計で平均26・6人(夏期1日8便、冬期6便)と健闘しています。コロナ禍で町内の全ての行事が止まり、前年度には地区社協などが「お出かけサロン」や「お出かけ食事会」などで利用促進に取り組みましたが、それでもできなかった中での結果としては評価できます。

運営主体は、これまでは「燕沢地区交通検討会」でした



協議会設立集会(7/1)

仙台市では20年度から「育てる地域交通 乗り乗り事業」をスタートさせ、収支率は燕沢地区の場合20%で、高齢者(敬老パス所有者)等100円引きの割引運賃制度も導入されています。

が、コロナの関係で予定より遅くなりましたが、7月1日に「燕沢乗合タクシー運営協議会」(会長は大西連合町内会長、つじ議員は地区社協会長として副会長に就任)を発足させて取り組んできました。

21年4月からは3年間の積み重ねが実を結び、本格運行を実施することとなりました。

仙台市政運営及び2021年度予算要望を提出

社民党仙台市議団は、毎年翌年度の仙台市の予算編成時期に合わせて、市政運営及び予算に関する要望書を提出しています。

市政運営に関して27項目、新型コロナ対策で10項目、予算関係で53項目、各区の政策66項目の計119項目にわたり、10月7日の第3回定例会最終日に郡市長宛に提出しました。詳しくは社民党宮城県連合→社民党市議団HPで。

《主な政策要望―抜粋―》

《条例等制定について》

子どもの権利条例

交通基本条例

給付型奨学金条例

公契約条例

パートナーシップ宣誓制度

《市政運営について》

- ・コンプライアンス遵守体制
- ・公正・適正な入札制度
- ・指定管理者制度の見直し
- ・非正規職員に同一価値労働同一賃金の視点で待遇改善
- ・外郭団体 職員の待遇改善
- ・ガス事業の民営化の再検討
- 《県政との関連施策》
- ・女川原発の再稼働停止
- ・水道の民営化計画の撤回
- ・特別支援学校の市内増設
- ・県立美術館の移転計画中止
- ・みやぎ発展税・環境税の市内活用
- ・域内活用の明確化
- ・県立がんセンター・赤十字病院・労災病院統合の中止
- 《市民生活に関して》
- ・「非核平和都市」の宣言
- ・平和行政・平和教育の推進
- 《新型コロナ感染症対策》
- ・PCR検査体制の拡充
- ・後遺症・合併症対策

在宅療養者への生活支援
医療・福祉・教職員等への慰労金の支給

学力・運動不足への対策
中小零細企業への支援強化
雇用の確保、解雇への対策
感染防止へ休暇取得の指導



市長に要望書を手渡す市議団

介護サービス供給体制充実
グループホームの拡充
放課後デイサービスの拡充
アーチルの増設、機能強化

《市民協働のまちづくり》

地区集会所建設助成拡充
男女平等施策の啓発と推進
DV根絶・性暴力防止対策
性的少数者の差別解消
男性の育児休業の取得促進

《元気な地域経済と都市のブランド力》

地域雇用の創出拡大
地域最低賃金の引き上げ
商店街の担い手育成
耕作放棄地の解消
仙台ブランド、野菜の育成
有害鳥獣に市独自の対策
地元木材活用をの推進
多言語標記などサイン整備
音楽ホールの着実な整備

《魅力ある防災環境都市》

高速バスの発着場の集約化
荷さばきスペースの確保
バス路線の維持と市バスの定時運行を促進策
地域交通の支援策の拡充
脱炭素社会実現

児童相談所の機能強化
保育所持機児童の解消
35人以下学級の早期実現
人権教育の推進、いじめ根絶、不登校対策の強化
特別支援学校の市内増設
学校納付金の負担軽減策

建築物の環境配慮型再整備
震災メモリアル施設の整備
地域の防災力向上
指定避難所等で複合災害に
適応できる備蓄の促進

《市民の安心できる暮らし》

つじ隆一の活動日誌

- 4. 2 「のりあい・つばめ」実証運行出発式
- 4. 8 第1回仙台市共同募金委員会理事会
- 4.13 市議会災害対策本部会議
- 4.15 地域経済活性化調査特別委員会
- 4.21 総務財政委員会
- 5. 1 第1回臨時市議会（～2日）
- 5. 3 宮城県護憲平和センター総会一書面表決
- 5.21 総務財政委員会
- 5.26 つるがや元気会定期総会
- 5.27 とともに市政をつくる会との意見交換会
- 5.30 ソキウスせんだい定期総会一書面表決
- 5.29 社民党仙台支部連合定期大会
- 6. 1 燕沢地区交通検討会
- 6. 3 市議会各派代表者会議（報酬削減等）
- 6. 9 第2回定例市議会開会
- 6.13 燕沢地区社会福祉協議会総会一書面表決
- 6.18 本会議で代表質疑
- 6.23 総務財政委員会
- 6.25 第2回定例市議会閉会
- 6.26 燕沢地域包括支援センター地域ケア会議
- 6.30 地域経済活性化調査特別委員会
- 7. 1 燕沢乗合タクシー運営協議会設立総会
- 7.15 地域経済活性化調査特別委員会
- 7.21 総務財政委員会
- 7.29 宮城野区地区社協会長会議
- 7.30 第2回臨時市議会（～8月2日）
- 8. 5 第2回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 8. 6 燕沢コミュニティC大規模改修説明会
- 8. 8 原水禁世界大会オンライン集会
- 8.15 母親の平和行進
- 8.20 高野川水利組合立ち会い要請
- 8.21 総務財政委員会
- 8.26 第3回定例市議会議案説明
- 9. 2 第3回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 9. 4 第3回定例市議会開会
- 9. 5 社民党仙台支部連合定期大会
- 9.17 都市整備建設委員会
- 9.18 決算等審査特別委員会（～10/5）
- 10. 3 社民党市議団政策・21年度予算要望検討会
- 10. 7 第3回定例市議会閉会、市政及び令和3年度予算要望提出
- 10. 8 第4回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 10.15 仙台市退職者会コロナ問題学習会
- 10.21 都市整備建設委員会
- 10.22 第5回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 10.23 仙台市介護労組定期大会
- 10.27 市政施行131周年記念式典
- 10.28 子育て環境整備調査特別委員会
- 10.28 地域経済活性化調査特別委員会
- 11. 5 第6回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 11.18 第3回定例会議案説明、燕沢地区防災会議
- 11.20 都市整備建設委員会
- 11.25 燕沢地区地域懇談会
- 11.26 第3回臨時市議会（～27日）
- 12. 2 第7回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 12. 3 第4回定例市議会開会
- 12.14 本会議で一般質問
- 12.16 都市整備建設委員会
- 12.18 第4回定例市議会閉会
- 12.23 子育て環境充実調査特別委員会



宮城野区護憲平和センターを設立

11月24日、自治労会館で宮城野区護憲平和センターの設立総会が開かれました。これ

は宮城野区平和労組会議を発展的に解消し、地域で護憲平和運動を構築していく趣旨で組織されたものです。つじ議員はその共同代表の一人に選出されました。総会後には、

宮城野区「地域懇談会」を燕沢地区で開催

11月25日、鶴ヶ谷市民センターで宮城野区主催の燕沢地区地域懇談会が開かれました。6町内会提出されていた地域

要望について、区の担当者から説明が行われました。その一つの鶴ヶ谷6丁目4号線バイパスまでの市道の連続接



その他の地域活動



続について、これまでの歩道整備に続いて令和3年度より本格整備が図られることになりました。



高野川の改修を要望

8月20日、宮城野区の高野川の土砂堆積で、川より取水している農業用水のポンプアップが困難になっている現状について、市の河川課、農林土木課に改善を要望しました。